

# 太平洋基礎シベラー

住宅基礎天端用セルフレベルング材

(西日本用)



住宅基礎天端用  
セルフレベルング材

# 天端仕上げに「強」・「耐」・「滑」を…

## 太平洋基礎レベラー（西日本用）の特長

- 優れた物性
- 優れた作業性
- 優れた平滑性

## 使用工具

### ● ハンドミキサ



デゾルバ式ハンドミキサ

毎分1000回転以上のもので、ハネ先はステンレス製のデゾルバ式のものを使用してください。

- 練り混ぜ用容器  
(20~30ℓ丸桶又はペール缶)
- 計量カップ
- 流し込み容器
- 均し用トンボ
- 電動コードリール
- 水道ホース  
他

## 施工手順

### 1 コンクリート打設

基礎型枠に、太平洋基礎レベラー（西日本用）の施工厚10mm程度になるよう、できるだけ平滑にコンクリートを打設し、表面を木ゴテで均します。

### 2 レベル出し

仕上げ面のレベル出しを行います。平滑性を確保するためレベル目印は天端釘またはマグネット等を用い、約50cm間隔で行ってください。

### 3 レイタンス除去

コンクリートのブリーディング水がひいた直後に、コンクリート表面を、左官刷毛やブラシ等を用いて目荒しし、コンクリート表面のレイタンスやゴミ、油分等を完全に除去します。コンクリート表面が乾き過ぎた場合は、適度な水湿しを行ってください。



## 物性値

於：弊社 開発研究所

試験項目	試験結果	
フロー値(mm)	242	
凝結時間 (時一分)	始発	8-00
	終結	9-00
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日	7.1
	材齢28日	8.8
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢7日	24.1
	材齢28日	29.4

試験はJASS 15M-103に準拠

\*上記試験結果は性能を示す一例であり、「すべての現場条件」に当てはまるものではありません。

## 施工長さの目安

施工厚	基礎幅	施工長さ (m/袋)
10mm	12cm	12.5
	15cm	10.0
15mm	12cm	8.3
	15cm	6.7

## 荷姿



## 練り混ぜ水量

太平洋基礎レベラー	水量 (ℓ/袋)
25kg/袋	6.5~7.0

## 4 練り混ぜ

所定の水を先に入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら、太平洋基礎レベラー（西日本用）を徐々に投入し、流動性が発揮されるまで3分間良く練り上げてください。



## 5 流し込み施工

流し込み容器に移した太平洋基礎レベラー（西日本用）を、端部より所定のレベルまで、逆流させないようにゆっくりと一定方向に流し込んでください。打継ぎ・手直しの際には、均し用トンボでタンピングしながら流動性を回復させた後、表面を軽く均します。せき止め板を使用すると、レベルの精度が向上します。



## 6 養生

太平洋基礎レベラー（西日本用）施工後は、必ずシート養生してください。低温時には太平洋基礎レベラー（西日本用）の硬化時間が遅れるので、型枠脱型までに2日間以上養生してください。



# 太平洋基礎レベルの注意事項

## 施工上の注意

- 1 太平洋基礎レベル（西日本用）の標準施工厚さは10～15mmです。最低厚さ5mmを確保してください。
- 2 コンクリート打設時に、型枠内部に付着したペーストなどを除去してください。
- 3 コンクリート表面にゴミ、油などがある場合は完全に除去してください。
- 4 アルミ製羽根のハンドミキサで練り混ぜを行うと、アルミ部材が摩耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- 5 太平洋基礎レベル（西日本用）はコンクリートのブリーディング水が引いたときに施工します。部分的にブリーディング水が残っている場合は、ウェス、刷毛、スポンジ等で除去してください。
- 6 コンクリート打設後、翌日以降に太平洋基礎レベル（西日本用）を施工する場合、施工前に接着不良を防止するためレタンスを除去してプライマー処理をする必要があります。プライマーは太平洋モルトップエマルジョンの3倍希釈液を左官刷毛などで塗布し、十分に乾燥させてください。
- 7 太平洋基礎レベル（西日本用）はわずかな隙間からでも流出しますので、型枠のジョイント部や換気枠などの隙間は、普通モルタル等で充填してください。
- 8 コンクリート打設前に取付けたマグネットなど、レベルが動いていることがありますので、太平洋基礎レベル（西日本用）を施工する前に再度確認してください。
- 9 太平洋基礎レベル（西日本用）の施工は端から順にレベルを決めながら流し込んでください。
- 10 太平洋基礎レベル（西日本用）は既調合モルタルです。現場で他の材料（セメント、砂等）を混入しないでください。
- 11 気温5℃以下での施工は避けてください。やむを得ず施工する場合は、適切な保温、採暖処置を行ってください。

## 注 意

- 太平洋基礎レベル（西日本用）はセメント同様アルカリ性を示します。誤って眼に入った場合は、直ちに清水で十分に洗浄し、医師の治療を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので直ちに水洗いしてください。
- 太平洋基礎レベル（西日本用）はカタログに記載している方法で使用してください。

## 太平洋マテリアル株式会社

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 ☎03-5832-5217

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663